

# 少女たちが女子プロ野球に与える影響について 特に高校生に注目して

伊藤 広将 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 新井 博

キーワード：女子プロ野球 選手 影響

## 1. 緒言

現在、日本における女子硬式野球人口は約600人とも言われ、決して競技人口が多いスポーツではない。しかし、その背景には「女子硬式野球のチームが少ない」「男子硬式野球部に入部しても、競技の継続は出来るが公式戦には出られない」など野球を続ける困難さから、ソフトボールなど他競技に転向を余儀なくされる選手が大半を占めているのが現状である。

中学のソフトボール出身者の進路は大きく分けて2つである。ひとつは女子ソフトボール部、もうひとつは女子硬式野球である。

私はこの点に注目した。選手たちはなぜ慣れ親しんだソフトボールではなく、硬式野球の世界に飛び込んだのか。ソフトボール部は47都道府県にあるが、女子硬式野球部は全国で6校しかない。厳しい環境の中でも選手たちはなぜ硬式野球の道を選んだのか非常に興味を持ち、選手たちが女子硬式野球部に入部したのは、女子プロ野球の影響があるのかも知れないと考えた。

そこで本研究では、女子プロ野球が女子硬式野球に及ぼす影響について明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究方法

本研究では、主としてアンケートによる調査を実施した。

### 1) 調査対象

・花咲徳栄高等学校・埼玉栄高等学校・蒲田女子高等学校・駒沢学園女子高等学校

### 2) 調査方法

・上記の高校に記述式アンケートを実施した。

### 3) 調査人数

144名（1年46名、2年48名、3年50名）

### 3. 結果考察

144名中130名と全体の9割の選手は女子プロ野球を目指していないという驚きの結果が出た。それと同時に女子プロ野球の誕生が選手たちに影響していないことがわかる。

その背景には、女子プロ野球が誕生しても女子プロ野球選手を目指していないことや、クラブチームでのプレーを目指している選手が多い。またチーム数も含めて環境が整っていないことや女子プロ野球の存続に対して不安があると言った意見も多く聞かれた。

### 4. まとめ

私の仮説を大きく覆して、女子プロ野球は選手たちに影響を及ぼしていないことが分かった。野球技術の問題や環境面などで不安に感じている選手が多い。しかし、女子プロ野球選手は日本代表に入れられないなどの理由で女子プロ野球を諦める選手がいるのは非常にもったいないと感じた。まだまだ乗り越えないといけない壁は多いが、女子硬式野球が垣根を越えて交流することが今後の発展にも繋がると考えた。

### 5. 参考文献

・戸高真弓美/2010.4/日本女子プロ野球の挑戦 ガラスのスパイクを届けに/出版文化社  
・谷岡雅樹/2010.4/甦る！女子プロ野球 ヒールをスパイクに履き替えて/梧桐書院